

事務事業 No./名称	■サービス部門 消防-07 □支援部門		警防活動事業				
主管課	警防救急課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	火災、各種災害等の災害防御活動の充実・強化を図る。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	23,713	40,115	36,329			
	(国・県)	110	218				
	(負担金等)						
	(一般財源)	23,603	39,897	36,329			
	人員配置数	1.0	1.0	1.0			
	人件費(千円)	9,183	9,636	9,564			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	32,896	49,751	45,893			
	市民1人当りの経費(円)	186	282	260			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
	人口						
	出場件数						
救急隊数							
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(24年度)
警防活動事業の達成率	◎	目標値	90	100	100	100	100
		実績値	70	80			

◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
警防活動事業	23,713千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	消防車両・各種資機材の維持管理及び消防学校における各種専科教育等		
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	消防活動上の資機材等の維持管理及び各種研修への職員の派遣について			
課題解決のための取組	限られた人員の中、効率的に職員を派遣した。			
未解決の課題	世代交代に伴い増加する新人に対して、研修を実施し、消防技術の向上を図る。			
今後の方針	継続して災害等の被害軽減に努めるとともに、消防の責任を果たし市民の安全を確保する。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ A	※ □事業完了	課長名 齋藤 務

